

# 松の湯

Matsunoyu  
(東京都新宿区)



グーグルで「銭湯愛好会」を検索すると、我が銭湯愛好会・東京支部の他に、早稲田大学と学習院大学の銭湯愛好会がヒットする。今時の大学生も銭湯を楽しんでいるのかと思うと、少しうれしくなる。今回紹介する松の湯は、早稲田大学の近くにある銭湯だ。周辺の通りは若者で活気があふれている。

松の湯は破風造りの銭湯を改修した外観になっている。中に入ると割と広いロビーがある。テレビがつけっぱなしにされ、風呂上がりにソファーに座ってテレビを見ることができる。しかし実はこれ、フロントにいるおかみさんの暇つぶしのようなのである。その証拠に、テレビはフロントに向けて設置されている。

ロビーが広いので、脱衣室が空間的に犠牲になっているのではと心配したが、そうでもないようである。脱衣室にはロッカーが 36 個ある。他にサウナ客専用の少し大きめのロッカーが 10 個。他に脱いだものを入れる籠も 4 個ほどある。ドライヤー 2 個 (20 円)、洗濯機 2 基 (200 円)、骨董級のマッサージ椅子 1 基 (20 円) もある。このマッサージ椅子、電源がつながっているところから、まだまだ現役のようだ。

銭湯の脱衣室には、常連客が使う小さい貸切ロッカーがあることが多い。マイ洗面器やマイシャンプーなどの風呂道具を入れるためのものだ。このロッカー、どれくらいの料金なのか考えたこともなかったが、松の湯では脱衣室に 300 円/月であると明示されている。意外と安価なのだ。

浴室は洗い場が 24 か所。他にシャワーブースも 2 か所ある。銭湯にしては珍しくシャンプーとボディ

ーソープが完備。ただ、全ての洗い場に完備されているわけではなく、4か所に集積されているので、あまり便利とは言えないかもしれない。しかし、ないよりはましである。本日は石鹸類の持参を忘れたので、助かった。

浴槽は多彩だ。深風呂（定員：2人）、ボディーマッサージ（定員：1人）、座風呂（定員：2人）、朝風呂のジャグジー（定員：3人）、打たせ湯（定員：2人）、水風呂（定員：2人）がある。いずれも適温だ。東京の銭湯にありがちな熱すぎるということは決してない。サウナは定員8人程度で室内温度は90℃。サウナ追加料金が高いせいか、サウナに入っている客はいなかった。水風呂は結構冷たい。

松の湯にはペンキ画はないが、鶴のタイル画がある。なるほどペンキ画は痛んでしまうが、タイル画なら長持ちする。

松の湯を出た我々取材班は、早稲田大学のキャンパスを通り抜けて、荒川線の早稲田駅付近にある飲み屋へ向かった。風呂上がりのビールはうまい。そして銭湯談義である。

1年後には東京オリンピックがある。世界中から来る人々は、東京に銭湯文化があることに気づいてくれるだろうか。その点、松の湯のような破風造りなら、結構目立つ。これは何だと外国人が興味を持っていただけるなら、きっと世界中で紹介されるに違いない。

DATA

名称	松の湯
所在地	東京都新宿区早稲田 1-4-12
電話	03- 3203-1655
営業時間	15：00～25：00
定休日	月曜日
入浴料	大人（12歳以上）460円、中人（6歳以上12歳未満）180円、小人（6歳未満）80円 サウナ追加料金 540円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	未確認
取材日	2019年4月24日（水）
取材	銭湯愛好会東京支部